



## 1.0

- [Cisco DNA Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco DNA Spaces の機能 \(2 ページ\)](#)
- [不具合 \(10 ページ\)](#)

# Cisco DNA Spaces の概要

Cisco DNA Spaces は、物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャンネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融、エンタープライズワークスペースなど、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco DNA Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco DNA Spaces は、ビジネス向けの情報を提供し、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- 訪問者の関与、アセット、およびリソースを管理するための共通プラットフォーム。
- 1 つの設定セクションですべてのプラットフォーム設定の完了が可能。
- SSID に接続している顧客へのプロモーションやオファーの表示をサポート。
- ルールを使用した、ロケーション、タグ、訪問頻度、滞在時間などに基づく、顧客に対する個別の、またはグループとしてのターゲティングをサポート。
- 複数のワイヤレスネットワークとの同時連携をサポート。
- ビジネスパフォーマンスを表示し、業界の同業他社のパフォーマンスと比較できるようにプロビジョニング。
- キャプティブポータルを作成し、ルールに基づいて顧客に表示するためのアプリ。
- 顧客がお客様の事業施設内にいるときに顧客に通知を送信するアプリ。
- 顧客がお客様の事業施設の近くにいるときに従業員に知らせるアプリ。
- 顧客をグループ化し、タグを作成するアプリ。

- Operational Insights にログインするためのアプリ。
- サードパーティのパートナーアプリを追加するためのプロビジョニング。
- ワイヤレスネットワークと同じ構造でのロケーション階層のインポートをサポート。
- さまざまな権限とロケーションアクセス権を持つ Cisco DNA Spaces ユーザーを作成するためのプロビジョニング。
- Cisco DNA Spaces とそのアプリおよび遅延のパフォーマンスステータスを監視するためのプロビジョニング。

## Cisco DNA Spaces の機能

Cisco DNA Spaces は、次の機能で構成されています。

### デジタル化に関する統計情報

Cisco DNA Spaces ダッシュボードの [Home] ページでは、次の累積統計値がページの上部に表示されます。

- [Locations] : さまざまなワイヤレスネットワーク用に Cisco DNA Spaces で設定されたネットワークロケーションの合計。
- [Access Points] : Cisco DNA Spaces に追加された AP の総数。
- [Location Updates] : Cisco DNA Spaces の導入日以降にワイヤレスネットワークから受信したロケーションアップデートの総数。
- [Square Foot] : Cisco DNA Spaces が占有するビジネス拠点の総平方フィート面積。
- [Visitors] : Cisco DNA Spaces の導入日以降、貴社のビジネス拠点を訪れたユニークビジターの総数。
- [Visits] : Cisco DNA Spaces の導入日以降にビジネス拠点で発生した訪問の総数（ユニークビジターの繰り返しの訪問を含む）。

### 機能

Cisco DNA Spaces は、キャプティブポータルを作成、顧客への通知の送信、タグを使用した顧客のグループ化、アセットの監視、ビジネスパフォーマンスの評価など、さまざまなタスクを実行できるさまざまなタスク指向のアプリを提供します。

一般的な Cisco DNA Spaces アプリは次のとおりです。

- 行動メトリクス
- キャプティブポータル

- エンゲージメント
- ロケーションペルソナ
- 運用に関するインサイト
- パートナーアプリ

## 行動メトリクス

行動メトリックアプリを使用すると、ビジネスのパフォーマンスについての知見を提供するさまざまなレポートを表示できます。デフォルトでは、レポートにはCisco DNA Spacesをインストールした日からのデータが含まれます。レポートは、アクセスできるすべてのロケーションについて表示されます。特定の場所と月のレポートを表示するようにフィルタ処理できます。タグに基づいてレポートをフィルタ処理することもできます。

Cisco DNA Spacesのインストール後、最初のレポートが表示されるまでに1ヵ月かかります。この期間中、サンプルレポートを表示できます。この期間中に[My Data]オプションに切り替えることで、レポートがどのように構成されているかを確認することもできます。レポートの準備ができれば、通知が送信されます。

レポートから特定の場所を除外する場合は、ロケーション階層でその場所の[ExcludeOutlier]メタデータを定義します。ロケーションの[ExcludeOutlier]メタデータ値が[True]に設定されている場合、そのロケーションは、上位または下位3つのロケーションや重要なロケーションなどのベンチマークを定義するために考慮されません。また、平均訪問時間と平方フィートあたりの平均訪問時間を含む行動メトリクスのすべてのグラフから除外されます。[ExcludeOutlier]メタデータ値を将来の日付として設定することにより、レポートからロケーションを一時的に除外できます。その後、その場所は指定された日付までレポートに含まれません。

行動メトリクスアプリは、次の種類のレポートで構成されています。

- **[WiFi Adoption]** : このレポートは、ビジネス拠点でのWi-Fi導入の指標を提供します。ビジネス拠点を訪れた訪問者数、Wi-Fiへの接続を試みた訪問者数、およびWi-Fiに正常に接続できた訪問者数が表示されます。このレポートには、インテント率（接続を試みたデバイス数に対するアクセス総数の比率）、獲得率（接続を試みたデバイスと正常に接続されたデバイスの比率）、リピーター訪問者数、およびAP密度も表示されます。レポートには、1日のさまざまな時間帯と曜日のWi-Fi接続分布が表示されます。
- **[Business Metrics (Retail Metrics)]** : このレポートは、訪問者が施設内で費やした時間、訪問頻度、日時および曜日別の訪問の分布、リピーター訪問者と新規訪問者の集中度、訪問期間のさまざまな範囲に属する訪問の割合、施設の面積と訪問者が費やした時間との相関関係などの情報を提供します。これらの情報により、ビジネスを分析し、適切なタイミングで顧客に連絡することができます。
- **[Right Now]** : Right Nowレポートには、現在貴社のロケーションにいる訪問者の詳細が表示されます。このレポートには、現在の訪問者数と、新規訪問者と再訪問者の合計数が表示されます。また、現在の訪問者の性別比率、プロフィール、所属するタグ、訪問時間、および過去30日間の現在の訪問者による訪問回数も表示されます。現在の訪問者の位置別分布は、マップとリストビューで表示されます。

Right Now レポートのパスシブ期間は10分です。したがって、訪問者は、その訪問者のパスシブ期間が経過するまで、Right Now レポートに表示されます。たとえば、あるロケーションにいる訪問者が1階から2階に移動する場合、その訪問者は1階と2階の両方に表示されます。1階の場合、訪問者数はパスシブ期間が終了した後のみ更新されます。

### キャプティブポータル

キャプティブポータルアプリを使用すると、キャプティブポータルを作成して表示できます。このアプリには次のオプションがあります。

- **[Portal]** : キャプティブポータルアプリの **[Portal]** オプションを使用すると、キャプティブポータルを作成できます。キャプティブポータルは、SSID に接続したときに顧客に表示されるユーザーインターフェイスです。このアプリは、ブランド名、会社のロゴ、アプリ、マップ、ビデオ、プロモーションなどのさまざまな機能をキャプティブポータルに追加するためのポータルモジュールを提供します。顧客モジュールをポータルに追加し、カスタムプロトコルを使用して URL にリンクすることもできます。さまざまなデバイスでキャプティブポータルをプレビューできます。必要に応じて、ポータルモジュールを並べ替えることができます。Cisco DNA Spaces では、ポータルスタイルシートを編集し、画像などのアセットを追加して、それらをスタイルシートで使用することができます。キャプティブポータルでは、インターネットプロビジョニングの前にエンドユーザーが完了する必要がある必要な認証タイプを設定できます。Cisco DNA Spaces は、さまざまな認証タイプのサンプルキャプティブポータルを提供しています。これらのサンプルポータルを使用して、要件に応じてカスタマイズできます。
- **[Captive Portal Rule]** : **[Captive Portal Rule]** オプションを使用すると、キャプティブポータルルールを作成できます。キャプティブポータルルールを使用して、次のタスクを実行できます。
  - キャプティブポータルの表示および SSID に接続している顧客のインターネットプロビジョニングを管理します。キャプティブポータルの表示、直接インターネットアクセスのプロビジョニング、またはキャプティブポータルルールを使用したインターネットアクセスの拒否を設定できます。
  - タグを作成するか、または既存のタグを変更します。
  - 外部 API へのキャプティブポータルにサインインする顧客の詳細を送信します。
- **[Reports]** : キャプティブポータルアプリは、次のタイプのレポートを提供します。
  - **[Device Onboarding]** : **[Device Onboarding]** レポートは、SSID に接続されたデバイスに関する情報を提供します。
  - **[Customer Acquisition]** : **[Customer Acquisition]** レポートは指定された期間中に選択したロケーションから新たに識別された固有の顧客と、識別された顧客から収集されたデータ（個人データおよび人口統計データ）に関する情報を提供します。
- **[SSID]** : キャプティブポータルアプリの **[SSID]** オプションを使用すると、ワイヤレスネットワークから SSID をインポートできます。**[Meraki Network Sync Status]** リンクには、各

Meraki ネットワークで最後に同期が行われた時刻と、次の同期の所要時間が表示されます。

- [Settings] : [Settings] オプションでは、アプリや SMS ゲートウェイなどの Cisco DNA Spaces サポート機能を設定できます。
  - [SMS] : このセクションでは、SMS 認証および SMS 通知用の SMS ゲートウェイを設定できます。
  - [Social Apps] : このセクションでは、ソーシャル認証用のソーシャルアプリを設定できます。Facebook、Linked In および Twitter のアプリケーションを設定できます。

## エンゲージメント

Cisco DNA Spaces は、Cisco DNA Spaces に対応した施設内にいる顧客を識別する WiFi ビーコンとして機能可能であり、定義されたエンゲージメントルールに基づいて顧客とビジネスユーザーに通知を送信できます。

エンゲージメントアプリを使用すると、顧客が事業所の近くにいるときに顧客に通知を送信するためのエンゲージメントルールを簡単に作成できます。顧客は、以前にビジネス施設から購入したユーザー、見込み購入者、または Wi-Fi に少なくとも 1 回接続したことがある訪問者です。また、従業員などのビジネスユーザーまたは API エンドポイントに対して通知を送信するようにエンゲージメントルールを設定することもできます。たとえば、カスタマーケア担当者が顧客に付加価値サービスを提供できるように、権限のある顧客が構内に入るとカスタマーケア担当者に通知するエンゲージメントルールを設定できます。

エンゲージメントルールごとに、その特定のルールのパフォーマンスを表示するレポートを表示できます。

顧客の Wi-Fi への接続、または BLE ビーコンへの接近に基づいて通知を送信するように設定できます。

次のモードを使用して、顧客に通知を送信できます。

- SMS
- 電子メール
- アプリの通知
- Bluetooth Low Energy (BLE) 通知

次のモードを使用して、従業員に通知を送信できます。

- Cisco Webex Teams
- SMS
- 電子メール
- トリガー API

## ロケーションペルソナ

ロケーションペルソナアプリを使用すると、顧客のグループでタグを作成できます。タグを使用して類似の顧客を分類でき、これらのタグを [Captive Portal Rule] などのルールで使用して、顧客のグループにルールを適用できます。複数のタグの下に顧客をグループ化できます。

タグを作成するだけでなく、ロケーションペルソナアプリを使用して、既存のタグに顧客を追加したり、既存のタグから特定の顧客を削除したりできます。

タグを作成するときに、既存のタグを使用して、選択したロケーションの顧客をフィルタリングできます。たとえば、ロケーション A とロケーション B のタグを作成するときに Android ユーザに限定したい場合、iOS のタグを削除するタグフィルタを使用できます。

ロケーションペルソナルールごとに、その特定のルールのパフォーマンスを表示するレポートを表示できます。

## 運用に関するインサイト

**Operational Insights** アプリにより、アセットの監視、およびアセット、センサー、アラートシステム、および運用ワークフローのパフォーマンス最適化が可能になります。このアプリでは、タグとセンサーが一定量提供され、接続運用を継続的に統合、監視、および管理できます。クラウドベースのインターフェースを使用して、各資産のプロファイル、カテゴリ、および所有者を定義できます。ビジネスルールを確立して、資産とセンサーのワークフローおよび求められる動作範囲を定義できます。**Operational Insights** アプリは、**Advanced** ライセンスパッケージを持つ Cisco DNA Spaces のお客様が利用できます。

## パートナーアプリ

Cisco DNA Spaces Partner App Center を使用すると、パートナーは Cisco DNA Spaces によってキャプチャされたデータを使用して Cisco DNA Spaces を拡張し、独自の製品とソリューションを構築できます。Cisco DNA Spaces パートナーは、Cisco DNA Spaces Partner App Center でアプリケーションを利用できるようにすることができます。Cisco DNA Spaces と統合されたパートナーアプリは、Cisco DNA Spaces ダッシュボードの [Partner Apps] エリアに表示されます。

# ロケーション階層

[Location Hierarchy] : オプションを使用して、Cisco DNA Spaces でビジネスロケーションを定義できます。ワイヤレスネットワークでロケーションが定義されている構造と同じ構造でロケーションをインポートできます。**エンゲージメント、キャプティブポータル、ロケーションペルソナ**などのアプリは、定義されたロケーション階層によって異なります。Cisco DNA Spaces はユニバーサルアカウントを提供しており、複数のワイヤレスネットワークのロケーションをロケーション階層に追加できます。

Cisco DNA Spaces のお客様にはそれぞれデフォルトのお客様名（ルート名）が提供され、このお客様名は Cisco DNA Spaces ロケーション階層のルートロケーションとして機能します。

Cisco Meraki ネットワークのロケーション階層は、次の順序になります。

### 1. Meraki 組織

2. Network
3. Floor
4. アクセス ポイント

Cisco CMX を使用した Cisco Unified Wireless Network のロケーション階層は、次の順序になります。

1. CMX ノード
2. キャンパス (Campus)
3. Network
4. Floor
5. アクセス ポイント

シスコ ワイヤレス コントローラを使用した Cisco Unified Wireless Network (Cisco CMX をインストールしていない) のロケーション階層は次のとおりです。

このワイヤレスネットワークを使用すると、その下にネットワークを持つ Cisco ワイヤレスコントローラをインポートできます。ネットワークは、同様の命名規則の AP を使用して作成されます。Cisco Wireless Controller のインポート時に選択されなかったネットワークの AP、およびどのネットワークにもグループ化されていない AP は、[未設定] として分類されます。ロケーション階層では、このワイヤレスネットワークのゾーンを作成できます。

さらに、ロケーション階層では、ロケーションのグループを作成できます。メタデータを使用してロケーションをグループ化することもできます。Cisco DNA Spaces ルールでこれらのグループとメタデータを使用して、グループ内のすべてのロケーションに同じルールを適用するか、同じメタデータで同じルールを適用できます。また、場所ごとに、名前、住所、都市、州、国などの地理的位置情報を追加することもできます。

ロケーション階層内でロケーション数、アクセスポイント数、BLE ビーコン数、近接ルール数、および任意のロケーションのユーザー数を表示できます。各場所のこれらのカウントは、その特定の場所に対して累積的に表示されます。

ロケーション階層に追加できる AP は、保有する Cisco DNA Spaces ライセンスのタイプによって異なります。

## モニタリングとサポート

[Monitoring] オプションでは、Cisco DNA Spaces とそのアプリのパフォーマンスステータスを監視できます。すべてのロケーションが接続されているかどうか、過去 60 日間に停止されたロケーションの更新数、パートナーシップとエンタープライズ統合の詳細、DNA Spaces アプリ、パートナーアプリ、エンタープライズアプリを含むすべてのタイプのアプリのステータスなどの詳細が表示されます。また、さまざまな Cisco DNA Spaces の遅延と異常のステータスも表示されます。

[Support] オプションを使用すると、顧客が提起したチケットを管理できます。Freshdesk で発生したチケットを Cisco DNA Spaces の [Support] ウィンドウに取得できます。

## チーム

[Team] オプションを使用すると、Cisco DNA Spaces ユーザーを作成できます。各ユーザーの権限とロケーションをロールに基づいて制限できます。

Cisco DNA Spaces は、Cisco DNA Spaces ユーザーに次のタイプの権限を提供します。

- [Account Admin] : このユーザーには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードでの完全な管理権限があります。
- [Admin] : このユーザーには、特定のロケーションのユーザーの管理を除くすべての権限が付与されています。たとえば、管理者ユーザーは、Cisco DNA Spaces に参加するようユーザーを招待できません。
- [Portal Designer] : このユーザーには、ポータル上の Cisco DNA Spaces のポータル機能へのアクセス権のみが付与されています。
- [AccessCode Manager] : このユーザーには、アクセス権が付与されているロケーションのアクセスコードを作成および管理するアクセス権のみが付与されています。
- [Location Manager] : このユーザーは、アクセス権が付与されているロケーションのポータル、ロケーションのメタデータ、およびレポートへのアクセス権のみが付与されています。ワイヤレスネットワークが CUWN の場合、このロールは適用されません。
- [Read Only Access] : このユーザーには、指定されたロケーションの Cisco DNA Spaces ダッシュボードを表示するアクセス権のみが付与されています。つまり、このユーザーは Cisco DNA Spaces の設定を編集できません。
- [Reporting Analyst] : このユーザーには、アクセス権が付与されているロケーションの Cisco DNA Spaces レポートへのアクセス権のみが付与されています。




---

(注) このリリースでは、**アカウント管理者**と**管理者権限**のみが有効になっています。アカウント管理者ユーザーは、アカウントをアクティブ化するために利用規約に同意する必要があります。

---

## 設定

[Setup] オプションを使用すると、Cisco DNA Spaces を使用するために必要なすべての基本的なセットアップを実行できます。

- 無線ネットワーク
- Cisco DNA Spaces コネクタ



## 無線ネットワーク

- **[Status]** : このセクションには、さまざまなアプリのアクティブステータスと、アクティブなアプリの割合が表示されます。ネットワークの総数も表示されます。
- **ワイヤレスネットワーク** : このセクションの **[Add New]** ボタンを使用すると、Meraki や Cisco Unified Wireless Network などのワイヤレスネットワークを Cisco DNA Spaces に追加できます。

Cisco DNA Spaces は、次のワイヤレスネットワークをサポートしています。

- **Cisco Meraki** : このネットワークには **[Cisco Meraki]** オプションを使用できます。
- **Cisco CMX と Cisco Unified Wireless Network** : このネットワークには **[Cisco CUWN-CMX]** オプションを使用できます。
- **Cisco ワイヤレスコントローラを使用した Cisco Unified Wireless Network (Cisco CMX なし)** : このネットワークには **[Cisco CUWN-WLC]** オプションを使用できます。

Cisco ワイヤレスコントローラと Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラの両方が Cisco Unified Wireless Network でサポートされています。

複数のワイヤレス ネットワークを Cisco DNA Spaces に追加できます。ただし、顧客アカウントの作成時に指定したワイヤレスネットワークがベースネットワークになります。

- **導入の前提条件** : このセクションでは、Cisco DNA Spaces とワイヤレスネットワーク間の接続を確立するための手順が記載された **Cisco DNA Spaces Setup Guide** を提供します。Cisco DNA Spaces の使用を開始する前に、これらのセットアップを完了して、Cisco DNA Spaces とワイヤレスネットワーク間の通信を確立する必要があります。選択したワイヤレスネットワークに基づいて、そのネットワークの詳細な手順が表示されます。

## Cisco DNA Spaces コネクタ

**[Spaces Connector]** オプションを使用すると、Cisco DNA Spaces コネクタとそれに関連付けられたワイヤレスコントローラを追加できます。Cisco DNA Spaces コネクタ機能により、Cisco DNA Spaces は複数のワイヤレスコントローラと効率的に通信できます。また、Cisco DNA Spaces コネクタ機能を使用すると、ワイヤレスコントローラは、クライアント情報を失うことなく、高強度のクライアントデータを Cisco DNA Spaces に正確に送信できます。

# ワイヤレス ネットワーク ステータス

**[Wireless Network Status]** オプションを使用すると、ワイヤレスネットワークの同期ステータスを表示できます。すべてのワイヤレスネットワークの各ネットワークロケーションの同期ステータスを表示できます。

## CMX クラウドテザリング

CMX クラウドテザリング機能を使用すると、Cisco CMX でのロケーション更新設定を自動化できます。Cisco DNA Spaces ダッシュボードでは、CMX テザリングのトークンを生成できます。次に、このトークンを Cisco CMX に追加して、通知とレポートに必要なロケーション更新設定を自動化できます。



(注) CMX テザリングは、Cisco CMX バージョン 10.6 以降でサポートされています。

## ライセンス情報

[License Information] オプションには、Cisco DNA Spaces ライセンスの詳細が表示されます。Cisco DNA Spaces アカウント名、ライセンスタイプ、ライセンスの有効性、アクセスポイントの制限、および現在使用中のアクセスポイントの総数が表示されます。現在、Cisco DNA Spaces には **Base** および **Advanced** ライセンスパッケージがあります。

## 不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

## Cisco Bug Search Tool

[Cisco Bug Search Tool](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

## 未解決のバグ：リリース 1.0

表 1: Cisco DNA Spaces バージョン 1.0 の未解決のバグ

不具合 ID	説明
CSCvo17285	Cisco Meraki の場合、[Wireless Network Status] ウィンドウで、ロケーションがロケーションロゴの近くに表示されるように左揃えされていません。
CSCvo05264	<p>次の2つのウィンドウにリストされているネットワークタイプは一致しておらず、混乱を招く可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Location Hierarchy] を選択し、ルートロケーションの [More Actions] アイコンをクリックして、[Add a Wireless Network] をクリックします。表示される [Add a Wireless Network] ウィンドウで、ネットワークの種類が [Add a Wireless Network] ドロップダウンリストに表示されます。</li> <li>• Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Setup] &gt; [Wireless Networks] を選択し、[Get Started] ボタンをクリックしてから、ルートロケーションの右端にあるアイコンをクリックします。ネットワークの種類は、[Network Setup] ウィンドウに一覧表示されます。</li> </ul> <p>理想的には、ネットワークタイプはウィンドウ全体で一貫である必要があります。</p>
CSCvo19301	[Wireless Network] ウィンドウの [Deployment Prerequisites] 領域で、さまざまなワイヤレスネットワークの指示へのリンクが正しく配置されていません。
CSCvn82672	Cisco DNA Spaces ログインに無効なログイン情報を入力した後、正しい入力情報を使用してログインしようとする、ログインできず、「 <b>Session Expired</b> 」というメッセージが表示されます。

不具合 ID	説明
CSCvo18918	[Digitization Stats] セクションでは、訪問者の数、ロケーションの更新、訪問数が小数で表示されます。たとえば、96.0399999999 です。これは、合計カウントが 1000 未満の場合に発生します。
CSCvo00172	ロケーション階層に新しく追加されたロケーションは、[Digitization Stats] セクションですぐには更新されません。そのため、[Location Hierarchy] ウィンドウと [Digitization Status] セクションのロケーションカウントが一致しません。  同様に、AP の場合もカウントが一致しません。
CSCvo17280	Cisco Meraki の場合、[Wireless Network Status] ウィンドウで、あるロケーションの [Expand-Collapse] ボタンをクリックした後、別のネットワークタブに移動してウィンドウに戻ると、[Expand-Collapse] ボタンは展開された状態で表示されますが、ロケーションは表示されません。
CSCvo09309	[Business Metrics] レポートの [WiFi Adoption] オプションで、概要セクションのグラフが期待どおりに水平に表示されません。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。